

様式 C - 7 - 1 【作成上の注意】

科学研究費補助金は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。この実績報告書は、当該年度内に実施した研究の成果等を記載するものであり、国立情報学研究所においてデータベース化し、一般国民に公開しています。この様式の作成に当たっては、次の記入要領にしたがって作成してください。

- (1) 用紙は、所定の様式を使用すること。
なお、1枚の用紙の表裏に印刷したものを1部作成し提出すること。
また、「11.研究発表」欄及び「12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合には、左端を糊付けすること。
- (2) 今年度の研究成果が特許等と関連がある場合には十分留意の上作成し、特に公表を見合わせる必要がある場合には、次の事項を記載した調書（A4判縦長横書1枚）を作成し、本紙（様式C-7-1）の下に重ねて左肩をホッチキスでとめること。
研究種目
課題番号
研究課題名
研究代表者の所属、職、氏名
研究分担者の所属、職、氏名
特許等との関連と公表を見合わせる必要がある理由
公表差し控え期間
- (3) 「機関番号」欄について
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）を記入すること。
- (4) 「研究機関名」欄について
研究代表者の所属する研究機関名を記入すること。
- (5) 「研究種目名」欄について
該当する研究種目名を正確に記入すること。
例．「基盤研究（A）」、「基盤研究（C）」等
- (6) 「研究期間」欄について
当該研究課題の開始年度及び終了予定年度（研究を廃止した場合は、当該廃止年度）を記入すること。
- (7) 「課題番号」欄について
科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
「特別研究員奨励費」の場合は、「課題番号」欄には内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。

（例）・平成17年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合

{1|7|・1|2|3|4|}

・平成17年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が01234の場合

{1|7|・0|1|2|3|4|}

注)外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。

- (8) 「研究課題名」欄について
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。

(9) 「研究代表者」及び「研究分担者」欄について

研究代表者について

- 1) 研究代表者について、必要事項を記入すること。
なお、研究組織の変更により、研究代表者を交替している場合には、交替後の研究代表者について、必要事項を記入すること。
- 2) 研究者番号
科学研究費補助金に係る研究者番号（8桁）を記入すること。
- 3) 研究代表者名、所属部局名及び職名
研究代表者名は、姓と名の間はカンマ（,）で区切って記入すること。
所属部局名（略称可）及び職名は、実績報告書作成時又は平成20年3月31日のいずれか早い時点のものを記入すること。

研究分担者について

- 1) 研究分担者の数が5名を越える場合には、主な者を5名記入すること。
- 2) 研究協力者は記入しないこと。
- 3) 研究者番号
科学研究費補助金に係る研究者番号（8桁）を記入すること。
- 4) 研究分担者名、所属研究機関名・部局名及び職名
研究分担者名は、姓と名の間はカンマ（,）で区切って記入すること。
所属研究機関名、所属部局名（略称可）及び職名は、実績報告書作成時又は平成20年3月31日のいずれか早い時点のものを記入すること。年度の途中において分担部分を終了した後に所属研究機関を変更した研究分担者については、分担部分終了時点（所属研究機関変更前）の所属研究機関名、部局名及び職名を記入すること。なお、所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。

「特別研究員奨励費」の場合には、「研究代表者」及び「研究分担者」欄は以下のとおり記入すること。

研究代表者について

- 1) 特別研究員の場合は、特別研究員本人について、必要事項を記入すること。
また、外国人特別研究員の場合は、外国人特別研究員の「受入研究者」について、必要事項を記入すること。
- 2) 研究者番号
外国人特別研究員の受入研究者のみ記入すること。
- 3) 氏名、所属部局及び職名
姓と名の間はカンマ（,）で区切って記入すること。所属部局名については、特別研究員（PD、SPD）の場合には研究を行う研究室が属する学部・研究所等の名称、特別研究員（DC1、DC2）の場合には在籍する研究科名（略称可）を記入すること。
また、特別研究員の職名については、「特別研究員(PD)」、「特別研究員(SPD)」、「特別研究員(DC1)」、「特別研究員(DC2)」と、その区分が分かるように記入すること。

研究分担者について

- 1) 外国人特別研究員について、アルファベットで記入すること。
- 2) 研究者番号
記入しないこと。
- 3) 氏名、所属研究機関名・部局名及び職名
姓と名の間はカンマ（,）で区切って記入すること。所属研究機関名については、外国人特別研究員が研究に従事する研究機関の名称、部局名については、外国人特別研究員が研究を行う研究室が属する学部、研究所等の名称を記入すること。
また、職名については、「外国人特別研究員」と記入すること。

(10) 「研究実績の概要」欄について

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字

できるだけ分かりやすく記述すること。また、記載に当たって、専門用語を多用することは避けること。なお、特に必要な場合には、今後の研究の展開に関する計画等についても記載して差し支えない。

文章に番号を付す場合には、「1、2、3、・・・」の順に数字を付し、これを更に細分化する場合には、「(1)、(2)、(3)・・・」の順に使用すること。

記載に当たっては、本欄にマスを設けても差し支えない。また、ワードプロセッサ等により浄書したもの（横50字×縦12～16行）を本欄に貼り付け、複写したものを提出しても差し支えない。

本欄に記載している文章をデータベース化しているため、記載に当たっては楷書で丁寧に行うこと。また、図、グラフ等文章化できないものについては、データベース化の際に支障をきたすので記載しないこと。

(11) 「キーワード」欄について

ここでいう「キーワード」とは、大量の研究成果情報の中から特定の研究成果をコンピュータにより検索する際の手段として用いる語のことをいう。この欄には、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを8項目以内で記入すること。また、化学式、数式等の使用は極力避けること。

なお、国外の特定地域や研究機関における調査研究あるいは、国外の研究者との共同研究のうち、次の形態で行う研究についてはそれぞれ該当するキーワードを記入するとともに、その対象となる国名または地域名を記入すること。

研究者の派遣または招へいを伴う研究・・・・・・「国際研究者交流」

上記以外で、国外の研究機関または

研究者との情報交換により行う研究・・・・・・「国際情報交換」

(例)

研 究 課 題	キ ー ワ ー ド
ア 高温超伝導体の光電子分光による研究	(1)酸化物高温超伝導体 (2)角度分解光電子分光 (3)フェルミ液体
イ 筋収縮に關与する細胞内カルシウムイオン遊離機構の分子生物学的解析	(1)筋収縮(2)カルシウムイオン (3)分子生物学
ウ 東南アジア諸民族の歴史・文化に關する研究	(1)国際研究者交流(2)多国籍 (3)民族誌(4)データベース (5)文化人類学
エ ヨーロッパにおける古文書の研究	(1)中世史(2)史料学(3)古文書学 (4)データベース(5)国際情報交換 (6)イギリス：フランス：ドイツ

〔 国が複数の場合は、5カ国までは国名の間「：」を入れ、5カ国を超える場合は多国籍と記入すること。 〕

(12) 「研究発表」欄について

当該年度内に、この研究の研究成果を発表した、雑誌論文、学会発表、図書について次のとおり記入すること。

雑誌論文

著者（第一著者）名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む。）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及び最初と最後の頁を記入すること。

学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所を記入すること。

図書

著者（第一著者）名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

(13) 「研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄について

当該年度内に、この研究に関連して得られた研究成果について産業財産権（特許権、

実用新案権、意匠権)を出願又は取得している場合には、本欄に必要事項を記入すること。発明者と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同左」と記入すること。

(14) 「備考」欄について

研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。